

平成29年度 宇部市公共交通協議会第2回会議（道路運送法関係）

日時：平成29年（2017年）6月27日（火） 14:00～15:30

場所：宇部市役所 4階 第2・3・4委員会室

出席者：11名（欠席者3名）

榑原会長、鈴木委員、福本委員、辻野委員、河内委員、宗像委員、磯部委員、吉原委員、木原委員、西村委員、藤崎委員

事務局：5名

庄賀総合政策部次長、古林政策企画課長、濱原政策企画課長補佐、中祖交通運輸政策係長、伊藤交通運輸政策係主任

次第：1 会長あいさつ

2 宇部市公共交通協議会（道路運送法関係）について

3 議事

・バス路線の一部廃止について（宇部市交通局）

・バス路線の一部廃止について（サンデン交通株）

4 報告

・バス路線の変更について（宇部市交通局）

5 その他

1 会長あいさつ

2 宇部市公共交通協議会（道路運送法関係）について（事務局）

事務局から、宇部市公共交通協議会（道路運送法関係）の設置目的、構成員、今回の協議内容について説明を行った。

（質問、意見なし）

3 議事

・バス路線の一部廃止について（宇部市交通局） 【承認】

宇部市交通局から、10月1日以降廃止となるバス路線の区間について説明を行い、承認された。質疑については、以下のとおり。

【委員】

運行ルートの変更に伴う廃止を除くと、中山線、小羽山・中山線、桃山線が実質的な廃止になると思います。これらの路線が、網形成計画策定時の路線の見直し基準等に該当したということによろしいですか。

【宇部市交通局】

網形成計画の中では、バス路線で特に重要な路線を主要幹線、次に重要なものを幹線、残りを支線として分類しています。中山線、小羽山・中山線、桃山線は、主要幹線と幹線のいずれにも属しておらず、今回廃止する区間の乗降者数もかなり少ないことから、網形成計画に定め

る見直しの方向性と収支等の経営の両面から廃止にしたいと考えています。

【会長】

中山線、小羽山・中山線、桃山線の廃止は、地域住民に影響があると思いますが、宇部市交通局ではどのように対応してきましたか。

【宇部市交通局】

昨年秋から対象地域に文書回覧でお知らせするとともに、説明会の開催やバス停留所への掲示等を行ってきました。

【会長】

周知はされているようですが、地域住民の反応や御意見はどうでしょうか。

【宇部市交通局】

「廃止されると困る。」という声を、電話や市の地域支援員を通じていただいておりますが、経緯や利用状況等を説明しご理解をいただいているところです。

また、利用状況を再度確認するため、昨年10月から今年の5月末までの8か月間これらの区間の全ての便において、乗降調査を行いました。中山線が1便当たり平均1.1人、小羽山・中山線が1便当たり平均1.4人、桃山線が1便当たり平均2.0人となっております。

【会長】

宇部市交通局は事業者としての判断も含めてこれらの区間を廃止したいということですが、これに対して、交通政策を所管する市はどのような対応をしていますか。

【事務局】

網形成計画の中で、バスが運行していない地域やバス路線が見直しとなる地域等については、コミュニティタクシーなどの地域内交通を導入していくこととしており、地域の要望に応じ、地域に出向いて地域内交通の説明会を開催しています。

中山線では、コミュニティタクシーを導入してはどうかという御意見もあり、地域の方々と協議をしていますが、ニーズが一部地域に限られているということもあり、うまく話し合いが進んでいません。市としては、引き続き利用者ニーズを確認しながら、路線バスに代わる移動手段の確保について地域と一緒に考えていきたいと思っております。

桃山線については、昨年から地域の方々と一緒に地域内交通の導入を検討しているところです。

【会長】

切れ目なく10月から地域内交通等へ移行するには、地域の機運が熟しておらず、もう少し議論が必要ということでしょうか。

【事務局】

前回承認いただいた原校区コミュニティタクシーも、実証運行までに半年以上の期間を要しています。それぞれ地域の実情があり、それに合った地域内交通を導入するには、一定の期間をかけて議論していくことが必要となります。

【会長】

他に御質問がないようですので、この件について承認ということによろしいでしょうか。
(全委員異議なし)

・バス路線の一部廃止について（サンデン交通㈱） 【承認】

サンデン交通㈱から、10月1日以降廃止となるバス路線の区間について説明を行い、承認された。質疑については、以下のとおり。

【委員】

宇部新川駅に乗り入れるということですが、バスの乗降場所はどちらになりますか。

【サンデン交通㈱】

宇部新川駅前バスセンターの小野田方面の5番乗り場を予定しています。

【会長】

運行ルート変更の意図は、大学病院前停留所を経由したいということでしょうか。

【サンデン交通㈱】

以前から利用者の要望もあり、こちらの方が利便性が向上すると思われまますので、変更するものです。

【会長】

この件については、運行ルート変更に伴う路線の一部廃止ですし、利便性の向上につながるという点でよいのではないかと思います。承認ということによろしいでしょうか。
(全委員異議なし)

【会長】

事業者においては、引き続き地域住民への周知をしっかりと行っていただきますようお願いいたします。

【事務局】

これらの件に関して承認されましたので、会長名で「協議が調っていることの証明書」を作成し、各事業者へ交付させていただきます。

4 報告

・市内バス路線の変更について（宇部市交通局）

宇部市交通局から、10月1日以降変更となるバス路線について説明を行った。質疑については、以下のとおり。

【会長】

中央病院線ですが、国道190号を通らない系統の変更であり、国道190号の東部主要幹線を通る系統はそのままということによいでしょうか。

【宇部市交通局】

今回変更するのは丸尾を経由する系統で、国道190号の主要幹線を通る系統の変更はありません。

【委員】

大学病院経由が複数の事業者で運行されるなどサービスが手厚くなる印象ですが、運行時間などをよく整理していただきたいと思います。以前の調査では、朝の時間帯に大学病院の利用が多いにもかかわらず、バスは午後の便が多いという状況にあったと思います。

【会長】

大学病院へは、宇部市交通局が循環線等で市内からの利用者をカバーし、サンデン交通は山陽小野田市など西側の利用者をカバーしているということになります。

大学病院への乗り入れは、ロータリーの関係で小型のバスしか運行できないのでしょうか。

【宇部市交通局】

大学病院が新棟建設中で、再来年の完成後はロータリーも広くなると聞いていますが、現在は工事中でロータリーも狭く一般車両の出入りも多いので、小型の車両で運行しています。

【会長】

主要幹線の設定は、現在、市全体で進めているコンパクトシティの中で、公共交通としてできることの一つであると思います。立地適正化計画の議論において、幹線の近くに人口を集約していこうという方向性が打ち出されていますが、幹線であることを明確にメッセージとして打ち出すことが重要だと思います。例えば、路線番号の見直しもその一つだと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

5 その他

事務局から、JR宇部線利用促進協議会の取組を紹介した。